

令和 6 年度（令和 5 年度活動分）

教育委員会の点検・評価報告書

川内村教育委員会

令和 6 年 8 月

1. 教育委員会の点検・評価について

(1) 制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により効果的な教育行政に資するとともに、住民への説明責任を果たすため、同法第26条によって、毎年、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、点検・評価を行うこととし、その結果については、報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければなりません。

(2) 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について、点検・評価の客観性を確保するもので、活用の仕方については、評価の方法や結果について、教育に関して学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けることなどが必要となります。

なお、教育に関し学識経験を有する者については、必ずしも専門家というものではなく、客観的な評価としての教育に関し公平な意見を述べることができる者であることが求められます。

2. 点検評価の実施方法

川内村教育委員会点検・評価委員会設置要綱に基づき、以下の通り実施します。

(1) 目 的

効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、村民への説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

(2) 実施方法

ア. 点検・評価の対象は、毎年度策定する「重点施策」とします。

重点施策に関する事務事業について、点検評価シートを作成します。

点検評価においては、当該年度の施策・事業を検証し、課題や今後の方向性などを表します。

イ. 点検評価委員に対し、重点事業の評価内容を担当者から説明し、委員より意見を求めることとします。

ウ. 点検評価委員からの意見に基づき点検・評価報告書をまとめ、教育委員会へ審議事項として提出します。

点検・評価委員

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	藤室玲治	福島大学地域未来デザインセンター 復興創生担当 特任准教授
委員長職務代理	秋元洋子	川内村 民生委員・児童委員（主任児童委員）
委 員	横田律恵	川内村 社会教育委員

点検評価の経緯

年 月	会 議 等	内 容
令和6年7月～8月	事務事業評価	各係において事務事業評価を行い、評価シートを作成する
令和6年8月29日	第1回評価委員会	各事務事業の説明 委員からの質問・意見の聴取
令和6年9月2日 ～9月4日	稟 議	委員から質問・意見の提示 評価書の取りまとめ
令和6年9月	議 会	点検評価書類を議会に提出
令和6年9月	教育委員会定例会	点検評価書の報告等
令和6年9月	ホームページ公開	点検評価書類

報告事項について

1. 教育委員会の活動状況

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公開します。

- (1) 教育委員会の定数
- (2) 教育委員の研修会参加状況
- (3) 教育委員会の会議の開催状況
- (4) 教育委員会の会議の公開状況
- (5) 議案の審議状況
- (6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況
- (7) 情報の提供状況
- (8) 教育委員会事務局等の体制
- (9) 生涯学習講座実績

2. 点検・評価の結果

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公開します。

川内村教育委員会重点施策

- 1. 教育行政の推進
- 2. 就学前保育・教育の充実
- 3. 学校教育の充実
- 4. 生涯学習の推進
- 5. 社会教育の推進と健全な青少年の育成
- 6. 芸術文化活動の推進
- 7. 地域・家庭等連携
- 8. 生涯スポーツの推進

令和 6 年度報告書内容(令和 5 年度活動分)

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の定数

単位：人

人数	性別		40 代		50 代		60 代		70 代	
5	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
(1)	3	2	1	0	0	1	2	1	0	0
	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

※ () は内数で、保護者である委員

(2) 教育委員の研修参加状況

主催別	全国	東北六県	県	浜通り
教育委員	0	3	3	1
教育長	0	1	1	1

(3) 教育委員会の会議の開催状況

	定例会	臨時会
開催回数	12 回	1 回

(4) 教育委員会の会議の公開状況

傍聴者数	0 人
傍聴者が 1 人以上の会議の回数	0 回

(5) 議案の審議状況

開催月	開催形式	議案等番号	件 名
4 月	定例会	議案第 13 号	専決処分の承認について (川内村社会教育委員の選任及び委嘱)
		議案第 14 号	専決処分の承認について (川内村スクールソーシャルワーカー設置要綱の制定)
		議案第 15 号	川内村地域学校協働本部事業運営委員の選任及び委嘱について
		議案第 16 号	川内村地域学校協働活動推進員の選任及び委嘱について
		議案第 17 号	川内村教育委員会点検評価委員会委員の選任及び委嘱について
		議案第 18 号	令和 5 年度川内村奨学資金の奨学生決定に係る承認について
		議案第 19 号	川内村教育委員会会議傍聴人規則の一部を 改正する規則の制定につて

開催月	開催形式	議案等番号	件名
5月	定例会	議案第20号	川内村興学塾実施要綱の一部を改正する訓令について
6月	定例会	議案第21号	専決処分の承認について (令和4年度川内村一般会計補正予算【第8号】)
		議案第22号	専決処分の承認について (令和5年度川内村一般会計補正予算【第1号】)
		議案第23号	川内村地域学校協働本部事業運営委員の選任及び委嘱について
		議案第24号	川内村学校運営協議会委員の選任及び任命について
7月	定例会	議案第25号	就学援助費の支給決定について
		議案第26号	令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について
		議案第27号	令和6年度使用中学校用教科用図書の採択について
		議案第28号	令和6年度使用学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について
8月	定例会	議案なし	
9月	定例会	議案第29号	専決処分の承認について (令和4年度川内村一般会計歳入歳出決算)
		議案第30号	専決処分の承認について (令和5年度川内村一般会計補正予算
		議案第31号	令和5年度教育委員会自己点検評価(令和4年度活動分)について
10月	定例会	議案なし	
11月	定例会	議案なし	
12月	定例会	議案第32号	専決処分の承認について(令和5年度川内村一般会計補正予算【第4号】)
		議案第33号	就学援助費の支給決定について
1月	定例会	議案第1号	令和6年度川内小中学園の新入生への入学通知について
		議案第2号	川内村教育特区学校審議会規則に基づく諮問について
2月	定例会	議案第3号	令和6年度教育委員会基本方針の策定について
		議案第4号	令和6年度教育委員会重点施策の策定について
3月	臨時会	議案第5号	教職員人事異動に伴う内申について
3月	定例会	議案第6号	専決処分の承認について(令和5年度一般会計補正予算)
		議案第7号	専決処分の承認について(令和6年度一般会計当初予算)

開催月	開催形式	議案等番号	件 名
3 月	定例会	議案第 8 号	川内村立義務教育学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について
		議案第 9 号	令和 6 年度教職員人事異動に伴う承認について
		議案第 10 号	令和 6 年度教育委員会事務局職員人事異動に伴う承認について
		議案第 11 号	川内村社会教育委員の選任及び委嘱について
		議案第 12 号	川内村地域学校協働活動推進員の選任及び委嘱について
		議案第 13 号	川内村スポーツ推進委員の選任及び委嘱について
		議案第 14 号	川内村文化財専門委員の選任及び委嘱について
		議案第 15 号	就学援助費の支給決定について

(6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況

施設名	かわうち保育園	川内小中学園	草野心平記念館
実施日	保育参観 11 月 保育園舎・園庭等 現地確認 11 月	授業参観 11 月 学校内現地確認 11 月	実施なし

※定例会開催日に合わせて訪問を実施

※訪問内容

- (1) 教育長による教職員への訓示 (2) 保育参観、授業参観 (3) 施設の管理状況視察
(4) 所属長との懇談

(7) 情報提供の状況

月	提 供 媒 体
5月発行	川内小中学園卒業証書授与式（7名の卒業者）（3月13日開催） かわうち保育園卒園式（4名の卒園児）（3月25日開催） 川内小中学園入学式（4名の入学者）（4月6日開催） かわうち保育園入園式（34名の全園児）（4月7日開催） 令和4年度教育委員会関係当初予算について 天山文庫だより 川内俳句会（4月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（こどもスタンプカード） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）3回
6月発行	かわうち保育園の活動について（外あそび・お花見・むし歯ゼロさん照会） にじいろ情報（第2回パソコン教室） 人権だより「スマイル」No.2 （家庭における教育） 天山文庫だより

	川内俳句会（5月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（七夕飾り） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）3回
7月発行	川内小中学園・保育園合同運動会 第15回川内村村民ゴルフ大会（55名参加）（5月27日開催） 令和5年度川内村スポーツ少年団結団式（軟式野球10名、バレーボール7名） かわうち保育園の活動について（交通教室・保育参観・合同運動会） 第58回天山祭り開催のお知らせ（7月8日予定） 令和5年度二十歳のつどい開催案内について（8月15日） 第76回夏季野球大会開催（8月13日～14日） 第1回中央学級開催（5月29日） 緑の少年団結団式（5月29日） 人権だより「スマイル」No3（ハラスメント） 天山文庫だより 川内俳句会（6月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（大型右記具の貸し出し） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）3回
8月発行	第17回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップ優勝。全国大会出場「東京都」（南東北ヤング）（8月14日開幕） 第31回ヤングリーグ選手権大会北日本支部予選優勝。全国大会出場「兵庫県」（南東北ヤング）（7月29日開幕） 人権だより「スマイル」No.4（アンコンシャス・バイアス） 令和4年度双葉郡スポーツ交流会。野球・グラウンドゴルフ出場（7月2日開催） 第58回天山祭り天山文庫で開催。（6・7年生による連詩、西郷獅子）（7月8日開催） 第76回夏季野球大会組み合わせ決定（8チーム） 第39回全国小学生陸上競技交流大会福島県選考会（3名）県大会出場 第66回福島県中学校体育大会陸上競技大会（2名）県大会出場 第8回全日本中学女子軟式野球大会福島県大会優勝（アブレイズ）全国大会出場（京都府）8月17日開幕 異文化体験交流学习（ブリックビル）生徒13名 かわうち保育園の活動について（七夕会、プール教室、運動遊び教室、ボールゲーム） 南都隣山会支援金贈呈（双葉地区教育長会） 令和5年度東北地区スポーツ推進員岩手県大会功労者受賞 1名受賞 新生活運動推進しましょう 天山文庫だより 川内俳句会（7月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（夏祭り開催のお知らせ）

	川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）1回
9月発行	はやぶさスポーツ少年団体験交流会開催（6月24日実施） 第76回夏季野球大会（8チーム参加）6区、西郷、1区、川内ジャイアンツ準決勝進出（8月13日～14日開催）＊2日目途中雨天のため中止 令和5年度川内村二十歳のつどい（8月15日開催）11名出席 かわうち保育園の活動について（夏祭り、クッキング） 人権だより「スマイル」No.5（災害と人権問題） 人権の花運動実施 天山文庫だより 川内俳句会（8月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（水泳、ジム用品販売など） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）2回
10月発行	相双地区野球選抜チームに川内小中学園から2名選ばれる 第1回相双地区英語弁論大会出場（3位）県大会出場 かわうち保育園の活動について（夏プール、避難訓練など） 人権だより「スマイル」No.6（障害のある人を取り巻くバリア） 川内人権教育講演会 10月21日開催「子どもの人権を守るしつけと虐待の違いとは」 天山文庫だより 川内俳句会（9月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（施設休館など） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）2回
11月発行	第76回福島県総合スポーツ大会「相双地域スポーツ大会」開催（壮年ソフトボール部に参加） 第17回市町村対抗福島県軟式野球大会 惜敗（VS玉川村）（9月16日開催） 第35回ふくしま駅伝出場選手（川内村代表選手）紹介 3名（11月19日開催） 中体連新人戦13年ぶり県大会出場（川内小中学園） 川内っ子北の大地で交流学校（北海道士別市）5年生7名参加 第3回中央学級（移動教室）開催 19名参加 伝承館、震災遺構（双葉郡内） 令和6年度幼保連携型認定こども園かわうち保育園園児募集 かわうち保育園の活動について（小中学園7～8年生職場体験など） 令和4年度教育委員会関係一般会計決算状況の報告について 川内村教育委員会委員就任 1名 人権だより「スマイル」No.7（発達障害） 天山文庫だより 川内俳句会（10月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（水中運動教室など） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）2回
12月発行	川内小中学園清流祭 10月28日開催

	かわうち保育園保育の活動について（ハロウィーンパーティー、防火パレード、） 人権だより「スマイル」No.8（マルトリートメント） 天山文庫だより 川内俳句会（11月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（冬期券の販売、年末年始休館日など） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）2回
1月発行	第35回ふくしま駅伝大会 希望ふくしまチーム(村代表選手3名)結果報告 （11月19日開催） 川内村人権教育研究発表会の開催について（11月13日） 中テレ・民友杯 第12回県中学硬式野球大会優勝（南東北ヤング） 第4回茨城日産カップ大会優勝（南東北ヤング） 中学硬式野球ヤングリーグ東関東支部1年生交流大会優勝（南東北ヤング） はやぶさスポーツ少年団（地域貢献）ごみ拾い かわうち保育園発表会(保育参観)報告 12月2日開催 人権だより「スマイル」No.9（子どもの権利を尊重するための保育・教育とは） もりたろうプール利用者10万人達成（12月5日） 第20回健康づくりソフトバレーボール大会参加チーム募集（2月18日） 天山文庫だより 川内俳句会（12月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（新春ポイントアップキャンペーンなど） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）2回
2月発行	テーブルマナー教室 川内小中学園後期課程生徒対象（12月20日開催） 川内村奨学資金貸与制度のお知らせ かわうち保育園クリスマス会の実施報告（12月22日開催） 天山文庫だより 川内俳句会（1月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（冬期券販売など） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）3回
3月発行	第70回文化財防火デー防火訓練下川内「長福寺」にて文化財防火デー防火訓練 実施報告（1月28日） 中央学級開催のお知らせ 3月4日 川内小中学園生徒会 能登半島地震被災者支援 令和5年度川内村会計年度任用職員募集 （フルタイム保育士 1名） かわうち保育園「節分豆まき、だんごさし」の実施報告 川内俳句会（2月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（冬期券利用期間終了など） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）2回
4月発行	第20回健康づくりソフトバレーボール大会 13チーム参加（2月18日開催） かわうち保育園「ひなまつり」実施報告

	第4回中央学級開催 3月4日 講演（つながる広がる地域支援・川内村で暮らし続けるために） 第16回川内村村民ゴルフ大会開催参加者・協賛募集（6月1日） 川内俳句会（3月句会） もりたろうプールの教室利用等の案内（ストレッチ&筋トレ教室など） 2024年度川内村年間行事予定表の公表（教育委員会関係） 川内小中学園「川内小中学園だより」発行（小中学園自主発行）1回
--	---

（8）教育委員会事務局等の体制

職 員 数		常 勤	任期付職員	会計年度職員	計
教 育 課		14	2	2	18
内 訳	課 長	1	0	0	1
	教育総務係	3	0	0	3
	生涯学習係	2	0	0	2
	かわうち保育園	8	0	1	9
	川内小中学園	0	1	1	2
	地域文化伝承教室	0	1	0	1

（9）生涯学習講座実績

○中央学級

実 施 日	講 座 名	参加人数
5月29日	新型コロナウイルス 5 類相当に移行に伴う生活様式の変化	40
7月19日	救急法講習会	13
10月12日	移動教室（東日本大震災伝承館 他）	19
3月4日	つながる広がる地域支援（川内で暮らし続けるために）	42

○地域文化伝承教室（コミュニティハウスにじいろ）

実 施 日	講 座 名	参加人数
4月 12・19・26日	紙芝居クラブ（3回）	21
5月 10・17・31日	紙芝居クラブ（3回）長福寺、天山文庫	18
6月 14・21日	紙芝居クラブ（2回）	13

6月 8・15・22日	パソコン教室（3回）	24
6月28日	福島大学 むらの大学	10
6月30日	福島高専 放課後子ども教室化学実験教室	39
7月1日	レコード鑑賞会	7
7月2日	からだ若返り講座	23
7月3日	野菜勉強会 給食試食会	11
7月5日	紙芝居クラブ（天山祭り）リハーサル	5
7月20日	情報モラル教室（浜通り少年サポートセンター）	24
8月22日 ～23日	玉川大学・福島大学 子ども教室レクリエーション、野菜勉強会と学食コラボ相談	74
8月25日	福島高専 モデルロケットワークショップ	32
9月 19・26日	aibo と遊ぼう（2回）	32
10月2日	aibo ワークショップ	14
10月9日	福島大学 森の学校 ハローウィン ジャック・オー・ランタン製作ワークショップ	10
10月25日	福大 村の大学 子ども教室との交流	10
11月28日	放課後子ども教室 クリスマスツリー飾り付け	10
11月29日	放課後子ども教室 ガラスペインティング	15
12月1日	長崎大学 サイエンス教室	33
1月30日	3・4年生 餅つき&総合学習報告会	37
2月19日	福島大学 ミニコンサート	63

○その他教室及び講座（生涯スポーツ活動含む）

実 施 日	講 座 名	場 所
5月27日	村民交流健康づくり 村民ゴルフ大会（55名参加）	矢 吹 町
2月18日	健康づくり ソフトバレーボール大会（83名参加）	川 内 村

令和5年度 川内村教育委員会重点施策に関する事務事業評価一覧

番号	重点施策名	事務事業	評価	評価担当係
1	教育行政の推進	(1)効果的な教育行政の推進	3	教育総務係
		(2)教育予算の確保と執行の適正化	4	教育総務係
		(3)教育施設・設備の整備充実	4	教育総務係
		(4)教育備品の充実	4	教育総務係
2	就学前保育・教育の充実	(1)保育・幼児教育の充実	4	かわうち保育園
3	学校教育の充実	(1)教育内容・方法の充実	3	教育総務係
		(2)変化に対応した教育体制の整備	4	教育総務係
		(3)児童・生徒指導の充実	4	教育総務係
		(4)教職員等の確保と資質の向上	3	教育総務係
		(5)特別支援教育の充実	3	教育総務係
4	生涯学習の推進	(1)生涯学習推進体制の充実	2	生涯学習係
		(2)生涯学習の普及啓発	3	生涯学習係
		(3)生涯学習機会の拡充	2	生涯学習係
5	社会教育の推進と 健全な青少年の育成	(1)社会教育活動の充実	3	生涯学習係
		(2)社会教育推進体制の充実	2	生涯学習係
		(3)社会教育施設の整備	2	生涯学習係
		(4)家庭教育の充実	2	生涯学習係
6	芸術文化活動の推進	(1)芸術文化活動の促進	2	生涯学習係
		(2)郷土芸能、文化伝承活動の推進	3	生涯学習係
7	地域・家庭等連携	(1)地域・家庭等連携	3	生涯学習係
8	生涯スポーツの推進	(1)スポーツの振興	3	生涯学習係
		(2)健康づくりの推進	3	生涯学習係
		(3)学校特設スポーツクラブの育成、振興	2	生涯学習係
計	総評価		3	

※評価 : 4 十分達成、 3 ほぼ達成、 2 やや不十分、 1 不十分

令和 5 年度
川内村教育委員会事務事業

自己点検・評価シート

自己点検・評価シート

【1-(1)】

重点施策名		事務事業	
1	教育行政の推進	(1) 効果的な教育行政の推進	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価	
○総合教育会議の運営	☆定例会（年1回） ☆臨時会（随時）	4・3・2・1	
○教育委員会会議の運営	☆定例会（月1回） ☆臨時会（随時） ☆村内教育施設調査訪問 ☆研修視察	4・3・2・1	
○教育機関相互の連携・協力	☆教育事務所指導訪問 ☆教育事務所管理訪問 ☆村内保育園・小中学園連絡会（月1回） ☆学校運営協議会（随時） ☆地域学校協働本部会議（随時） ☆社会教育委員との情報共有（随時）	4・3・2・1	
○他町村との協力	☆双葉地区教育長会 ☆福島県町村教育長協議会 ☆福島県教育委員会連絡協議会 ☆双葉郡教育復興ビジョン推進協議会	4・3・2・1	
○教育特区	☆学校審査会の開催 ☆認可校への指導・助言	4・3・2・1	
総合評価		4・3・2・1	
成果と課題	平成28年度より総合教育会議を設置し、村長と教育委員における教育委員会運営における環境整備や予算措置などについて協議しております。 教育委員会の運営については、毎月の定例会と必要に応じて臨時会を開催しております。 教育施設への訪問活動では、保育園・小中学園の視察を行いました。 教育事務所の訪問を受けて、教育現場の指導体制や学校運営等の改善を図るとともに、定期的に管理職との打ち合わせを行い、情報共有を図りました。 他市町村との教育活動における連携協力については、県内及び区域内の教育長会議が随時開催されており、区域内学校連携や運営に関しての意見交換を行いました。 教育特区許可校である株式会社大智学園高校について、学校審議会を開催し、学校の経営評価や本校舎整備機能再開に向け早期対策を施すよう指示しました。		3

【1-(2)】

重点施策名		事務事業	
1	教育行政の推進	(2) 教育予算の確保と執行の適正化	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価	
○教育予算の確保	☆教育施設・設備・備品の現状把握に努め、教育予算を確保	4・3・2・1	

総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	予算計上に当たっては、学校側との協議を重ね実情を把握し、より効果的な予算編成に努めた。 国の補助事業を活用し、GIGAスクール構想により整備されたICT環境を活かした学習効果の高い授業を実現するための支援員配置や、児童生徒の心のケア面でのソフト事業にも取り組んだ。 また、小学校既存校舎部分施設の経年劣化による修繕工事等の施設整備予算の確保に努めた。	4

【1-(3)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
1	教育行政の推進	(3) 教育施設、設備の整備充実	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○教育環境等の整備充実		☆義務教育学校と幼保連携型認定こども園の充実 ☆各種備品購入及び教育環境の整備促進	4・3・2・1
○教育施設の保守、管理委託		☆学校、プール等保守、管理等を専門業者への委託	4・3・2・1
○工事に係る事故防止の徹底		☆諸工事に伴う事故防止	4・3・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1	
成果と課題	新設となる校舎での備品購入やネットワーク整備は、令和2年度に完了しているため、経常的な経費の執行となった。 学校整備に係る保守管理面では、年度当初又は適宜に業者を選定し、委託契約等を締結し適正に管理を行った。	4	

【1-(4)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
1	教育行政の推進	(4) 教育備品の充実	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○教育備品、管理備品の充実		☆備品の管理と予算の確保 ☆必要教材、学校図書のパネル購入 ☆ICT機器の整備と保守	4・3・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1	
成果と課題	通常的な教材や備品等の購入にあたっては、小中学園と連携を密にとり、適正な時期に導入できるよう事業執行を図るための予算確保や教育課程へ支障の出ないよう迅速な事務処理に努めた。 ICT機器については、全ての教室にモニター型の電子黒板を設置し、W I ・ F I 環境を整え、児童生徒一人一人のタブレットを使用している。 また、臨時休業に備え、家庭でのオンライン授業に対応できるよう、i パット充電器などを整備している。	4	

【2-(1)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
2	就学前保育・教育の充実	(1) 保育・幼児教育の充実	

点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
○認定こども園の整備と機能強化	☆幼保連携型認定こども園舎の管理 ☆幼保連携型こども園の運営管理 ☆教育及び保育計画に基づく義務教育学校との連携 ☆保育教諭の確保	4・3・2・1
○保育・幼児教育の充実	☆豊かな感性を育む ☆思いやりの心を育む ☆就学前の基礎学習の指導	4・3・2・1
○子育て相談の充実	☆子育て相談教室の開催	4・3・2・1
○感染予防対策の周知と励行	☆学校・園対応マニュアル、保育所における感染症対策ガイドライン等の遵守	4・3・2・1
○社会性や基本的生活習慣の指導の充実	☆友達や仲間を大切にすることを育む ☆基本的生活習慣の指導	4・3・2・1
○義務教育学校との連携	☆学校訪問や運動会等に参加 ☆教育及び保育計画に基づく1年生教育課程の連携	4・3・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	令和3年4月幼保連携型かわうち保育園を開園し、小中学園敷地内に教育環境を集約することにより、一層の学校機関との連携を図ることができた。 保育園と小中学園との合同運動会など、園児が学校環境にふれ合う機会を設定し取り組みを行った。年長児については、就学前の学校施設、授業見学などを行った。また、児童生徒が職場体験や生活科の授業で保育園を訪問し、園児との交流を図った。 保育を実施するにあたって、保育理念、保育目標などの基本的な方向を確実にし「保育課程」を定め実施している。また、クラスごとに年間計画、月別計画及び個別計画(3歳未満児)を策定し、園児一人ひとりの発育・発達に合わせ保育内容の充実に努めている。 課題としては、保護者の就労と子育ての両立等を支援するために、保護者の生活状況に配慮するとともに、常に子供の養育の尊重を念頭におき、家庭との連携を密にし・子育てに協力していく必要がある。さらに、3歳未満児の入園ニーズが増えていることや途中入園・一時預かりにも対応し、保護者が安心して預けることができるよう、ゆとりある保育と教育の充実を図るために余裕ある保育士の確保が必要となっている。	4

【3-(1)】

重 点 施 策 名	事 務 事 業	
3 学校教育の充実	(1) 教育内容・方法の充実	
点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
①教育課程の改善充実 ・ 村の教育方針の明確化 ・ 教育課程の改善 ・ 重点目標を踏まえた教育課程の編成と実践 ・ 重点目標具現の筋道の明確化	☆教育基本計画の周知 ☆双葉郡教育復興ビジョンとの連携 ☆学習指導要領に基づく9年間の教育課程編成と教育及び保育計画に基づく連携 ☆指導の重点化 ☆教育目標から重点目標を焦点化し、実践、評価して具現に努める ☆重点目標「つなぎ ひろげる」	4・3・2・1

②児童生徒の学力向上 ・少人数の特性を生かして基礎的、基本的事項と思考力、判断力、表現力の定着を図る ・児童生徒の実態を的確に把握し、適切な学習指導を推進 ・基本的な生活習慣及び望ましい人間関係の育成 ・民間を活用した学力向上の推進 ・外国語活動の強化 ・コミュニケーション力の向上	☆教材の精選、重点化を進める ☆学力テストを実施し指導方策を明らかにする ☆ICTを活用して学力向上策を構築 ☆実践の場の設定と指導の充実を図る ☆道徳的実践の習慣化を図る ☆かわうち興学塾の実施 ☆標準学力調査、漢検、英検、リーディングスキルテスト、実力テストの実施と評価 ☆保育園、1年生から外国語活動実施 ☆国際交流事業の実施 ☆異学年、異世代、他地域との交流事業の実施	4・3・2・1
③道徳教育の充実 ・人権教育研究推進事業実施 ・道徳的実践力を高揚	☆県人権教育研究推進事業の実践 ☆自主的、実践的な活動を援助し社会性を育てる	4・3・2・1
④特別活動の充実 ・自己実現能力の涵養と豊かな実践力	☆保健、安全、給食との関連を十分図り、計画的、継続的な体力作りを進める ☆キャリア教育の充実を図る	4・3・2・1
⑤体力、運動能力の向上 ・生涯スポーツ、競技スポーツを目指す体育の生活化	☆多種多様なスポーツ活動を推進 ☆義務教育学校の各種体育大会参加を支援	4・3・2・1
⑥学校保健、安全の充実 ・日常的な保健安全活動、事故の絶無 ・感染予防対策の周知と励行	☆学校、家庭、地域の連携を密にして、自他の生命尊重を基に指導の徹底を期する ☆学校・園対応マニュアル、学校運営ガイドライン等の遵守	4・3・2・1
⑦学校給食の充実 ・おいしく、楽しい給食を提供	☆給食費の支援 ☆食材の放射能検査を徹底する ☆物資の安定供給及び施設整備に努める ☆家庭と地域の連携を図り、食生活の改善と健康管理に努める ☆給食委員会の開催（随時） ☆学校、家庭、地域の連携で食育を推進 ☆地場産品活用を推進	4・3・2・1
⑧教育機会の確保 ・就学支援	☆川内村育英奨学資金の貸付と返還支援 ☆高校通学支援 ☆各種就学支援の実施	4・3・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1

成 果 課 題	○教育課程 小中学校の教育目標及び重点目標の具現を目指し、9年間の学びをホップ・ステップ・ジャンプ期に区分し、各領域においてそれぞれの実態を踏まえた具体的な目標、実践事項を設定した教育課程を編成した。 ○学力向上 英語教育にあってはALTを配置し、小中学園（前期・後期）保育園を巡回し、実態にあった指導を計画的に取り組んだ。小学生への英語の授業が導入されており、これらの面も考慮しながら英語力を上達させ、今後のグローバル社会に対応できる教育を施す取り組みを行った。 ICT環境整備としては、すべての教室にモニター型の電子黒板を設置、W I ・ F I 環境を整え、児童生徒一人一人のタブレットを使用し効果的な授業を行った。一方で、ゲーム・ネット依存に関する問題もあり、携帯電話やタブレットの利用においては、ルールを守った使い方等を推進すべく学校での指導や家庭との連携により、適切な使用について継続的に指導していく必要がある。 ○学力向上のために村営塾「興学塾」を継続開催し、高校受験対策として外部テストを行い学校とともに情報共有し学力向上に繋げた。民間委託し独自の学力調査も行っている。	3
	○体力、運動能力向上 少人数ながらも小中学校とともに特設陸上部等を置き、積極的な活動を継続的にを行っている。また、部活動においては、外部講師を呼び指導を受けるなど、技術の向上にも繋げている。	
	○学校保健、安全対策の充実 小中学園・保育園では、保健だより等により家庭における予防・対応等を喚起しながら、子どもや保護者の予防意識の高揚を図り、「新しい生活様式」を取り入れ感染防止や健康維持にも努めることが出来た。	
	○学校給食 給食食材については、放射性物質の検査を継続的にやっている。また、必要に応じ栄養教諭との給食委員会を開催し、成長の度合いに応じた給食内容や季節に合った給食メニューなどを取り入れ、食育の推進を積極的に行っている。学校給食費に関しては、保護者の負担軽減のため給食費の無料化を行っている。	
	○教育機会の確保 低所得者の方々に対して、学費などの教育経費の負担が増した方への国や大学が取り組んでいる情報提供や村独自に取り組んでいる奨学資金制度の案内を行った。	

【3－(2)】

重 点 施 策 名	事 務 事 業	
3 学校教育の充実	(2) 変化に対応した教育体制の整備	
点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
①組織体制の整備 ・社会環境の変化に対応する教育体制を整備	☆小中を統合して義務教育学校の円滑な運営 ☆義務教育学校敷地内での幼保連携型認定こども園の円滑な運営 ☆学校施設を社会教育に活用 ☆指導主事の配置	4・3・2・1
②教育体制の整備 ・小中一貫教育の導入	☆9年間の連続的、系統的カリキュラムの評価と改善 ☆学年集団4－3－2方式の評価と改善 ☆前期課程教科担任制の評価と改善	4・3・2・1

・コミュニティ・スクールの導入 ・教科センター方式導入 ・ICT教育環境整備	☆学校運営協議会運営の評価と改善 ☆地域学校協働本部運営の評価と改善 ☆地域文化伝承教室運営の評価と改善 ☆教科教室運営の評価と改善 ☆ICT機器整備と支援員配置	
③人材育成の推進 ・復興人材育成 ・グローバル人材育成 ・研修機会の充実	☆復興子ども教室、ふるさと創造学等実践の評価と改善 ☆外国文化研修事業実施 ☆県教育委員会、県教育センターへの計画的参加推進 ☆村教育研究会の再開と実践的活動を推進 ☆先進地研修の実施	4・3・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 小中一貫教育における連続した学びを実現するためホップ・ステップ・ジャンプ期に区分し、 課 題 系統性のある教育活動を行う。前期課程から一部教科担任制を導入し、小中のスムーズな接続を 行い、後期課程では教科センター方式を導入している。また、校内に地域文化伝承教室を設置し 、地域と子供たちが繋がる交流の場となっている。 復興子ども教室については、8月に長崎での現地研修を行う予定でしたが、台風の影響により 中止となりました。		4

【3-(3)】

重 点 施 策 名	事 務 事 業	
3 学校教育の充実	(3) 児童、生徒指導の充実	
点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
①児童、生徒指導体制の充実 ・全職員の共通理解に基づく生徒理解と実践 ・生徒一人ひとりの心情理解と自己実現への援助	☆生徒指導に係る実践的活動の推進 ☆教育相談体制の確立 ☆教職員間で、児童生徒一人ひとりの観察情報の共有	4・3・2・1
②家庭、地域社会、関係機関との連携強化 ・家庭・地域社会・関係機関と連携して健全育成	☆緊密な連携、相談体制の構築	4・3・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 児童生徒が少ないことから、個々に応じた指導が進められている。各家庭に対しては、学校活 動などの情報を提供するために「学校、保健だより」等を定期的に発行した。また、児童生徒の 成長過程に応じた対策を講じるため、村保健福祉課や福島県支援機関等との情報交換や指導を受 と けるなど、保護者への児童生徒個々の状況を踏まえた対応を図る。個々のケースに応じた対応を 課 題 図るため、専門的な知識を有する方の対応を含めた、相談内容の充実を図った。		4

【3-(4)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
3 学校教育の充実		(4) 教職員等の確保と資質の向上	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
① 教職員等の確保 ・学校の実態に応じた適正な配置		☆県教育委員会との連携 ☆復興推進加配の要請 ☆学習支援員の配置 ☆SC、SSWの配置 ☆ICT支援員の配置	4・3・2・1
② 教職員研修の充実 ・研修のねらい、内容を明確化して資質を向上		☆村教育研究会の再開 ☆研修支援	4・3・2・1
③教職員の働き方改革 ・在校時間管理の適正化 ・校務の見直し ・地域等外部からの支援要請		☆時間外勤務は2月平均で45時間以下 ☆週1回は定時退校日を設定 ☆長期休業日に空直日及び閉庁日を設定 ☆会議、行事等の精選、見直し ☆ICT機器の活用と校務支援ソフトの導入 ☆前・後期課程連携による教職員交流 ☆外部講師活用による校務の効率化推進 ☆スクールサポーターの配置	4・3・2・1
総合評価		4・3・2・1	
成果と課題	県教育委員会との連携のもと適正な教職員の数が確保できるよう取り組んでいる。復興推進加配による教員の配置もあり、単式学級で学ぶことができ、一学年一教室を継続し個々の状況に応じた指導が出来ている。 教職員の研修状況については、小中学園との連携を図り、指導力や知識を広めるため、各種研究会への参加を積極的に促している。 教職員の働き方改革を進めるため、月1回の学校との連絡会を設け、教職員の時間外勤務状況の確認、週1回のノー残業ディや長期休業時における空直日を設定し、できるだけ教員の勤務環境の改善につなげる取り組みを進めた。さらに、校務の効率化や軽減を図るために福島県推奨の校務支援ソフトを導入しております。また、前期課程での一部教科では、教科担任制を導入し、小中連携による教職員の交流を図った。 村独自で実施している学力調査評価会などは教職員が参加などはしているが、村教育研究会の再開はできていない。		3

【3-(5)】

重点施策名		事務事業	
3 学校教育の充実		(5) 特別支援教育の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価	
① 就学支援計画と実践 ・障害に応じた指導計画、方法を確立 ・適切な就学指導と学習指導を推進	☆指導の個別化を図り、教材教具の活用を工夫する ☆地域社会の理解を得られるよう努める	4・3・2・1	

		☆学習支援員の配置	
総合評価			4・3・2・1
成果と課題	特別支援学級に該当する児童・生徒は在籍していないが、経過観察を必要とする児童・生徒のため、村独自の特別支援員の配置を図り学習支援面における個々の状況に応じた指導や、前期課程では生活面でのサポートも行った。 今後の成長過程に即した特別支援が必要となる児童・生徒への対応が必要となることから、スクールカウンセラー等の面談も含めた対応も行った。		3

【4-（1）】

重点施策名		事務事業	
4 生涯学習の推進		(1) 生涯学習推進体制の充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○生涯学習の推進		☆生涯学習各団体との連携	4・3・2・1
総合評価			4・3・2・1
成果と課題	震災及び原子力災害後においては、生涯学習推進のための各種会議を開催しておらず、生涯学習面での事業内容の充実が図られておりません。 少人数ではありますが、各種教室が再開されている状況もあり、今後の課題としては、より内容の充実を図るための推進体制を整えるべく、人材育成に努めなければならない。		2

【4-（2）】

重点施策名		事務事業	
4 生涯学習の推進		(2) 生涯学習の普及啓発	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○村民への広報		☆広報媒体を活用して村民意識の高揚	4・3・2・1
総合評価			4・3・2・1
成果と課題	震災前は生涯学習推進会議を開催し、生涯学習の充実を図り魅力ある生涯学習に努めていた。 現在は、村広報誌やパンフレット等を作成して広報啓発を強化し、震災前の講座復活に努めていますが、指導人材や参加人員の確保が出来ず苦慮している状況です。今後は、村の現状に応じた各種教室等の実施を検討し開催に向け努力しなければならない。		3

【4-（3）】

重点施策名		事務事業	
4 生涯学習の推進		(3) 生涯学習機会の拡充	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○各種講座の充実 ・各種講座の実施		☆各種講座の要望調査と実施	4・3・2・1

・学習、体験等の指導者育成	☆小さな名人の掘り起こし	
総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	各種講座の開催については、催し内容や開催時期、参加人数を増やすための方法や検討が十分に出来ていなかった。 さらに各種催しの実施にあたっては、外部指導者・講師に依存する状況となっており、村内での育成が図られていない状況である。 ICTを活用した学習会等についても実施できていない状況となっている。 今後、双葉郡の復興再生を踏まえ、町村間連携による各種講座やイベント等の開催を検討すべきところである。	2

【5-（1）】

重 点 施 策 名		事 務 事 業
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成		(1) 社会教育活動の充実
点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
①青少年教育の充実 ・健全育成事業の充実 ・学校、地域社会の連携強化	☆放課後子ども総合プランの策定 ☆放課後子ども教室の実施 ☆放課後児童クラブの実施 ☆子ども会活動への支援 ☆地域の子ども教室推進事業の実施 ☆世代間交流事業の実施	4・ <u>3</u> ・2・1
②成人教育の充実 ・村民の必要課題に応じた教室の開催 ・学習内容、方法の工夫	☆学習講座の開催 ☆各種研修会への参加奨励	4・3・ <u>2</u> ・1
③女性教育の充実 ・学習体制の充実 ・学習内容、方法の工夫	☆婦人会活動の援助 ☆社会参加活動の促進 ☆支部学級の推進 ☆女性セミナー ☆各種研究会への参加奨励	4・ <u>3</u> ・2・1
④高齢者教育の充実 ・学習体制の充実	☆学習講座の開設 ☆指導者研修会への参加奨励 ☆体験活動、ボランティア活動に伴う人材登録者の活用	4・ <u>3</u> ・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	社会教育活動の充実を図るべく各種実践事項を掲げ進めてきましたが、コロナ禍以降、開催が出来ていない状況でありました。 主に実施することができた事業としては、学校・地域社会の連携強化を図るための地域学校協働本部運営委員会や義務教育学校内に整備した地域コミュニティスペースの充実などがあります。	3

また、放課後子ども総合プランの運営充実や婦人会活動への援助も行うことができました。村婦人会による活動は、村の催事等への協力に欠かせない組織体となっていますが、組織を支える人材確保が懸念されるところである。 女性教育と高齢者教室は、合同での中央学級として令和5年度より再開しました、コロナ禍以降4年ぶりの開催ということもあり、年4回程度の実施となりましたが、今後は幅広い世代間の交流にも取り組んでいきたい。 青少年教室や成人教育については、対象年代での参加も少なく実施することができなかった。	
--	--

【5-(2)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成		(2) 社会教育推進体制の充実	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①社会教育関係職員の確保と資質向上 ・社会教育体制の充実		☆社会教育委員会の活動の充実	4・3・2・1
②民間有志指導者の活用 ・指導者の発掘、活用		☆指導者研修会への参加奨励 ☆生活文化技術の指導者発掘、活用	4・3・2・1
③社会教育関係団体の育成 ・青少年団体、婦人団体、PTA等組織的活動の充実		☆社会参加活動の促進 ☆体験活動、ボランティア活動に伴う人材登録者の活用	4・3・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	○社会教育体制の充実 郡連絡協議会や県の研究大会へ積極的に参加した。また、村の各種事業への参加も行っている。 ○指導者の発掘、活用 村内在住者における指導者の発掘・活用ができておらず、今後も指導者の発掘・活用は大きな課題事項である。 ○社会教育関係団体の育成 青少年団体の活動としては、スポーツ振興の兼ね合いを含め、スポーツ少年団による活動の場が増え、合わせて指導者の活動も増えつつある状況である。 女性組織は、天山祭りを始め、合同運動会、敬老会など村の事業に積極的に参加ができている。 。保育園・小中学園PTA等の組織も義務教委育学校設立時より活動を始めている。		2

【5-(3)】

重 点 施 策 名	事 務 事 業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成	(3) 社会教育施設の整備	
点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
①図書室の整備、充実 ・ 図書室利用の拡大	☆新刊図書の購入 ☆閲覧スペースの整備	4・3・2・1
②コミュニティセンター等施設の利用 ・ 施設利活用の促進	☆施設の整備、改修 ☆閲覧コーナーの整備	4・3・2・1

③学校施設と社会教育施設の融合 ・学校施設を社会教育施設として活用	☆空き教室や特別教室を利用して興学塾、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、ピアノ教室、生涯学習等を実施	4・3・ <u>2</u> ・1
④義務教育学校に地域文化伝承教室設置 ・地域文化伝承教室の活用	☆地域文化伝承機能整備 ☆コミュニティスペースの設置 ☆公民館分室的機能の整備	4・ <u>3</u> ・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	○コミュニティセンター内に常設している図書室の利用者を増やすため、図書の購入や図書室への入りやすい雰囲気作りを行った。 ○イベント情報や公民館事業を周知するためのチラシ作成や展示を行うなど、村内外への情報伝達に取組んだ。 ○コミュニティセンターの各室での活動を行い易くするための施設管理に努めた。 ○限られたスペースへの遊具設置や幼児・児童図書を充実させ、来場する子育て世帯などの利用者を増やす施策を施した。 ○地域文化伝承教室を設置し、村の地域文化を伝承することに取り組み、併せてコミュニティスペースを設置し、公民館の分室機能を持たせた ○地域文化伝承教室においても各種教室を実施し、生涯学習の充実を図った。	2

【5-（4）】

重点施策名	事務事業	
5 社会教育の推進と健全な青少年の育成	(4) 家庭教育の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
①家庭教育充実 ・学習機会の拡充 ・情報モラルの確立	☆子どもの発達に応じた講座の開催 ☆家庭学習習慣の定着 ☆ICT端末を一人1台貸与 ☆情報モラルの育成	4・3・ <u>2</u> ・1
総 合 評 価		
成果と課題	放課後の家庭学習支援の一環として、放課後子ども教室を開催し、家庭教育の面での支援を行っている。更に学力向上の場として村直営による学習塾を継続的に開催している。又、子供の成長と長期における音楽的な感性を養う場の講座として「ピアノ教室」を開催している。 また、放課後子ども総合プラン参加児童を対象に情報モラル教室を開催した。	2

【6-（1）】

重点施策名	事務事業	
6 芸術文化活動の推進	(1) 芸術文化活動の促進	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
①芸術文化活動の充実 ・芸術文化活動への支援 ・芸術文化活動の推進	☆芸術文化活動への助成 ☆芸術文化推進団体等の育成、推進 ☆天山祭りの開催 ☆各種コンサートの開催	4・3・ <u>2</u> ・1

	☆各種芸能鑑賞会の開催	
総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	○震災後13年が経過し、芸術文化推進団体の中にも、休止状態が継続されたままの団体もあり、今後の再開が課題となっている。また、村の現況を踏まえた場合、芸術文化推進団体の在り方も、再検討していかなければならない。 ○フラダンス・大正琴・太極拳などの活動が再開してきていますが、コロナ禍以降人口減少もあり参加者の増員については難しい状況となっている。 ○令和5年で58回目を迎える天山祭りを開催し、天山祭りの目的のひとつである中央との文化の交流を行った。また、本村の重要無形文化財である三匹獅子舞の披露も行った	2

【6－(2)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
6 芸術文化活動の推進		(2) 郷土芸能、文化伝承活動の推進	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①郷土芸能、文化財保存継承 ・保存継承の支援		☆保存伝承費助成 ☆文化財防火訓練 ☆平伏沼管理員配置 ☆文化財調査	4・ <u>3</u> ・2・1
②文化財啓発 ・文化財理解		☆文化財巡り	4・ <u>3</u> ・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成 果 と 課 題	文化財の保存や継承については、無形民俗芸能をはじめとした後継者不足や指導者の高齢化による保存継承が難しい状況となってきたが、継承団体との連携を図り、衣装や用具等の更新費用への補助を行ってきており、三匹獅子舞(4団体)等の奉納を例大祭等で披露し継承に繋げている。また、既存文化財の調査として平安藤一滴善童女守り刀の調査を行った 文化財保護の観点から地区住民や消防団の協力を得て、防火保護活動を推進しており、令和5年度においては、上川内地内の長福寺において防火訓練を実施し、更に村内にある文化財の状況を調査した。 ・モリアオガエルの産卵期には、平伏沼に管理員を常駐させて管理に努めた。 今後は、村民等に対し、村内の文化財等の理解を深めるための活動を進めていきたい。		3

【7－(1)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
7 地域・家庭等連携		(1) 地域・家庭等連携	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
①地域連携 ・地域学校協働本部の設置 ・環境づくり ・青少年激励 ・公民館等事業周知 ・読書推進		☆地域学校協働活動推進員配置 ☆花いっぱい運動 ☆二十歳のつどい開催 ☆広報媒体活用 ☆絵本読み聞かせ ☆移動図書館の活用	4・ <u>3</u> ・2・1

②家庭等連携 ・子育て学習 ・子育て支援 ・SNS被害防止指導 ・情報モラルの確立	☆思春期の子どもを持つ親の学習 ☆新入学児童の保護者の学習 ☆放課後子ども総合プラン策定 ☆放課後子ども教室の運営 ☆放課後児童クラブの運営 ☆子育て相談の開催 ☆アウトメディア宣言の実践 ☆人権教育の研究推進 ☆研修会の開催	4・③・2・1
③男女共同参画社会 ・地域社会への啓発	☆アドバイザー研修参加	4・3・②・1
④体験活動、ボランティア活動支援 ・推進体制の充実	☆地域学校協働活動推進員と義務教育学校、幼保連携型認定こども園の連携	4・③・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成 果 と 課 題	○地域連携 公民館事業として、地域と学校が連携する環境づくりのために老人会、婦人会、保育園、小中学校の協力を得て、地域等への「花いっぱい運動」を展開した。 村内の成人者を招待し、コミュニティセンターにおいて二十歳のつどいを開催した 公民館事業の周知方法として、村広報紙、防災行政無線、公民館内広報掲示スペース等を活用し幅広く事業内容を周知している。 図書の充実を図るために移動図書館などから図書を年間2回、年間800冊程度の図書を借用し内容の充実に努めている。 地域内連携、子どもから高齢者までの連携を図り、社会環境の充実を目指しているが、住民の帰還率は8割程度にとどまっており、帰村者促進のため、今後も粘り強く取り組んでいくことが重要となっている。 ○家庭等連携 児童クラブ、放課後子ども教室を一体的に行う放課後子ども総合プランを実施した ○男女共同参画社会 人手不足のため関係機関での会議や集会への参加も出来なかった。 ○体験活動、ボランティア活動支援 学校への支援地域本部を設置し、小中学校での「ふるさと創造学」に係る地域連携コーディネーターを配置し、活動への支援を行った。	3

【8-(1)】

重 点 施 策 名	事 務 事 業	
8 生涯スポーツの推進	(1) スポーツの振興	
点 検・評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
①組織の強化 ・組織、運営の充実 ・スポーツ少年団の育成	☆体育協会への助成 ☆活動助成 ☆民間指導者の発掘と活用	4・③・2・1
②生涯スポーツ推進 ・村民皆スポーツの推進 ・スポーツクラブの検討	☆各種大会開催 ☆啓発活動	4・③・2・1

③競技スポーツ振興 ・スポーツ振興 ・スポーツ団体の育成	☆組織化の検討	4・ <u>3</u> ・2・1
	☆各種大会参加 ☆川内の郷かえるマラソン大会の継続開催 ☆支援体制の充実 ☆スポーツ推進員の養成、確保	
④施設の整備と利用促進 ・体育施設の整備 ・体育施設の利用促進	☆既存施設の維持管理	4・ <u>3</u> ・2・1
	☆体育施設の宣伝と利用案内の周知	
総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	○組織の強化 体育協会組織のもとで各種団体が様々な大会に積極的に参加しており、活動団体数は減少しているものの助成金を交付し活動強化に努めた。 スポーツ少年団は、平成29年度より川内野球スポーツ少年団が再開し、週3日程度の練習や各種大会への出場も徐々に増えている。また、令和2年度よりはやぶさスポーツ少年団が活動再開し、週3日の練習や各種大会への参加も増えてきている。 ○生涯スポーツ推進 現在、バドミントンを実施する団体があり、組織化に向けての検討を進めたい ○スポーツ振興 競技者が少ない中でも、体育協会を中心に野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ等の各種大会に積極的に参加している。 村内では、競技者人口が少ないため、新たな種目の取組みが難しい状況となっている。 H28年度からは、川内の郷かえるマラソン大会を開催しており、地域おこしのイベントとしても取組まれている。さらに、室内型温水プール(もりたろうプール)を開設したことから、年間を通したプール活動が可能となっており、村民の健康増進に寄与するとともに、プール事業を通した各種大会への施設活用や水泳競技へのスポーツ振興を図り、合わせて指導者の確保や養成に努めていきたい。	3

【8-(2)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
8 生涯スポーツの推進		(2) 健康づくりの推進	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○健康づくり普及		☆健康スポーツ教室開催	4・ 3 ・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成 果 課 題	健康づくり推進事業として、2月に「健康づくりソフトバレーボール大会」を開催し、健康づくり7チーム、一般の部6チームで実施し、健康づくりの普及に努めた。		3
	また、室内型温水プール(もりたろうプール)での村民に対する健康づくり教室に取り組んだ。村には、限られた施設しかなく、村民が多種のスポーツを楽しむための施設整備は図られていないが、限られた施設を活用しながらも、村民の年代に応じた健康増進につながる屋内外のスポーツやファミリースポーツなどの活動充実に取り組んでいきたい。		

【8－(3)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
8 生涯スポーツの推進		(3) 学校特設スポーツクラブの育成、振興	
点 検・評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○学校特設スポーツクラブ充実		☆活動助成 ☆民間指導者の発掘と活用	4・3・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成 果 と 課 題	特設スポーツクラブの実施にあたっては、指導者の発掘や活動内容の充実を図り、学校との連携を図りながら特設スポーツクラブの育成充実に努めたい。		2